

2022年度

日仏社会学会大会プログラム

11月19日（土）

会 場

奈良女子大学

文学系S棟 S235室

（奈良市北魚屋西町）

<参加要領・連絡事項>

1. 大会参加費 大会運営のため参加費 1,000 円を申し受けます。
非会員の方の参加も歓迎いたします。
2. アクセス 奈良女子大学へは、近鉄奈良駅（1番出口）から徒歩約7～8分です。
正門よりお入り下さい。（アクセスマップ後掲）
3. 出席連絡 参加予定の方はできるだけ事前にお知らせください（11月17日まで）。
（連絡先：日仏社会学会事務局 nichifutsusocio@gmail.com）
4. お願い 新型コロナウイルス感染症対策のため、入構時に守衛室で「入構時刻・名前・所属・
連絡先電話番号」をご記入いただきます。構内では、マスク着用・手指消毒などにご協力ください。発熱など体調不良の場合は参加をお控えください。
5. 備考 懇親会は開催いたしません。

*なお、会員は2022年度会費の納入をお願いいたします。

郵便振替 00960 6 278804 口座名 日仏社会学会

〈タイムテーブル〉

12 : 00 理事会 (S228 室)

12 : 30 受 付

13 : 00 開 会 の 辞 荻野昌弘 (日仏社会学会会長・関西学院大学)

13 : 05-13 : 30 自 由 報 告 司会 白鳥義彦 (神戸大学)

真正性のルソー／著名性のルソー

——『学問芸術論』から『ダランベールへの手紙』へ

江見克基 (関西学院大学大学院)

13 : 30-14 : 00 総 会

14 : 00-17 : 00 シ ン ポ ジ ウ ム

Covid-19 の世界的感染拡大と日仏の医療・看護系学生の状況

—医療現場と教育現場に『緊急事態』がもたらしたもの—

司会 北垣徹 (西南学院大学)・岡崎宏樹 (神戸学院大学)

趣旨説明 佐藤典子 (千葉経済大学)

第1部 フランスでの調査

covid-19 医療現場における学生の活動

—フランスの医療・看護学生はどのように“動員”されたか—

中村健太 (関西学院大学大学院)

フランスの医療従事者に寄せられた称賛と圧力について 原岡蓉子 (創価大学)

学校と実習先の間で経験したコロナ危機

—あるフランス人看護学生の葛藤の語りを通じて—

西田尚輝 (東京大学大学院)

フランスの Covid-19 の感染拡大下における医学・看護学生の過労とそれが社会にもたらしたもの
佐藤典子 (千葉経済大学)

第2部 日本での調査

大学におけるコロナワクチン職域接種と看護学生 近藤理恵（岡山県立大学）

各種実態調査から見たコロナ禍における日本の学生の状況

—看護系学生を中心に—

小田切祐詞（神奈川工科大学）

休憩

総括 大前敦巳（上越教育大学）

コメント

松本かれん（シテ大学 ボードウロック助産師学校）

刀根洋子（元和洋女子大学看護学部教授）

質疑応答

17:00 日仏社会学会功労賞授与式

閉会の辞

小川伸彦（奈良女子大学）

奈良女子大学へのアクセスマップ

最寄り駅は近鉄奈良駅です。
正門へは1番出口から徒歩約7~8分です。



大会会場（文学系S235室）への経路

正門を入り直進
→記念館②に突き当たったら左へ
→すぐ横にあるのが文学系S棟⑦
→会場はその2階の階段教室③④です
※入構記録に記入していただく守衛室は正門すぐ右手の①です。

